業　　績　　調　　書（記入例）

氏　名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（※旧姓名の記載も可）　　　　　　　　年　　月　　日現在

|  |
| --- |
| 著書、論文、学会発表及び研究報告等  ［ 著者名、著書・論文等名（査読の有無）、発行元・誌名、巻号、頁、発行年月、出版社名、分担執筆等を記入する。］  （著者名が多数にわたる場合は、主な著者を数名記入し、以下を「他」として省略しても可。） |
| 【著書】  １．宇大花子編著：○○○○○○○○○○○○○○○○○○，○○出版，ISBN978-4-1111-2222-3，担当部分：第○章「○○○○○」（pp.164-201），全○ページ，1999.12.〔分担執筆〕  【国内論文（日本学術会議協力学術研究団体が発行する刊行物で査読制度が設けられているもの】  １．宇大花子，宇大太郎：○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○，○○○学会誌，Vol.22，No.2，pp.124-132，1999.2.，（出版社名）〇〇学会  【国内論文（上記以外）】  １．宇大花子，宇大太郎：○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（査読付），○○○学会誌，Vol.22，No.2，pp.124-132，1999.2.，（出版社名）〇〇学会  ２．宇大花子：○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（査読無），○○○学会誌，Vol.21，No.1，pp.123-131，1996.2.，（出版社名）〇〇学会  【国外論文（ジャーナル評価指標付論文）】  １．Hanako Udai，Taro Udai：○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○，○○○ Journal, Vol.123，pp.5512-5520，2004.12. ，〇〇Publishers, (IF: X.XX).  【国外論文（上記以外）】  １．Hanako Udai，Taro Udai：○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（査読付），○○○ Journal, Vol.123，pp.5512-5520，2004.12. ，〇〇Publishers  ２．Hanako Udai，：○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（査読無），○○○ Journal, Vol.120，pp.5510-5525，2000.12. ，〇〇Publishers  【国際会議論文（プロシーディング （講演要旨集）など）】  １．Hanako Udai，Taro Udai：○○○○○○○○○○○○○○○○○○（査読付），International Conference on ○○○ ，pp.551-558，2018.12.  ２．Hanako Udai：○○○○○○○○○○○○○○○○○○（査読無），International Conference on ○○○ ，pp.550-557，2010.12.  【紀要】  １．宇大花子，宇大太郎，他：○○○○○○○○○○○○○○○○○○（査読付），○○○大学紀要○号，pp.11-30，1999.6.  ２．宇大花子，宇大太郎，他：○○○○○○○○○○○○○○○○○○（査読無），○○○大学紀要○号，pp.14-20，1997.6.  【学会発表】  １．宇大花子：○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○，○○学会第55春季年会講演要旨集，p.1234，2005.11.  ２．宇大花子：○○○○○○○○○○○○○○○○○○，○○学会○○大会（東京），講演番号A-1234，2002.12．  【作品等】  １．宇大花子：○○○○○展示会出展，2014.1.  【その他】※上記に該当しないものは，以下の『その他』欄に記載する。（提出時は、本説明文は削除する。）  （研究報告）  １．宇大花子：○○○○○○○○○○○○○○○報告，○○○科学, No.4, p.123，2009.9.  （解説・総説）  １．宇大花子：○○○○○○○○○○○○○○，○○○学会誌，Vol.54，No.4，pp.5-18，2018.4.，（出版社名）〇〇学会  （特許）  １．宇大花子：○○○○○○○，特許第○○○○○，2013.6.  （提出時は、以下の説明文は削除すること。）  ＊著書で共著の場合、分担ページ及び担当部分のタイトルを記載する。  ＊著書には、個人又は研究者グループ等が、学術研究の成果を公開するために刊行したものであって、ISBNが付与されている図書（以下に該当するものを除く）を記入する。  ① 既に類似の成果が刊行されているもの。  ② 既にインターネットや学術誌等を通じて公表されている論文、又は公表が義務づけられている論文（例：博士論文）を単に集成し、刊行するもの。  ③ 学術研究の成果とは言い難いもの。  ④ 大学、研究所等の研究機関及び学術団体等がその事業として翻訳・校閲・刊行すべきもの。  ⑤ 出版社等の企画によって刊行するもの。  ⑥ 市販しないもの。  ＊翻訳について、その翻訳物がISBNを付与された書籍に掲載される場合は、著書への記載ができる。  ＊辞書の項目，翻訳書の訳注，年表等の資料の出版物等については、【その他】欄に記載する。  ＊ジャーナル評価指標付論文とは、Clarivate Analytics社のJournal Citation Reportsが公開しているインパクトファクター（文献引用影響率），もしくはElsevier社が公開しているCiteScore（サイトスコア）等の本学が認めた評価指標が付与されている論文のことである。  ＊ジャーナル評価指標付論文には、評価指標値を記載する。  ＊日本学術会議協力学術研究団体が発行する刊行物の内，外国語で作成され，かつ，ジャーナル評価指標が付与されている論文については、国外論文（ジャーナル評価指標付論文）に記載する。  ＊【国内論文（上記以外）】及び【国外論文（上記以外）】の論文には、査読の有無を記載する。  ＊修士論文、博士論文は加えない。  ＊発行年月の新しい順に記載する。  ＊論文で共著の場合、著者名にアンダーラインを付す。なお、自身がコレスポンディング・オーサーの場合は、著者名にダブルアンダーラインを付す。  ＊査読中のものは記載しない。  ＊国際会議論文及び紀要については、査読の有無を記載する。  ＊国際会議論文及び学会発表については、招待講演である場合はその旨を記載する。  ＊作品等には、以下の①または②に当てはまる場合記載できる。  ① 第３者によって評価がなされ公開されているもののうち、公的機関※が設置する文化芸術施設（美術館、博物館、劇場、音楽堂、文化ホールなど）による賞・表彰を受けたもの、もしくは全国紙や芸術系専門誌の批評に掲載され、評価されたもの。私的な団体や個人による賞・表彰、及び一般誌における掲載物は除く。  （※国、地方公共団体または文化・芸術の振興を目的としており行政庁（内閣府または都道府県）からの公益認定を受けている法人）  ② 公的機関が設置する文化芸術施設による招待、あるいは審査を経て、公的な作品展・芸術祭にて公開されているもの。自大学において研究成果発表として公開する作品は除く。  ＊業績として重視されない分類項目については、主要な成果物のみを記載したうえで、「その他〇編」などのように省略しても良い。 |

|  |
| --- |
| 学会活動、社会活動等  （役職名、期間等も記入） |
| 【学会活動】  ・○○○国際会議実行委員会，委員長， 2010～2012年.  ・○○○国際会議実行委員会，副委員長，2006～2008年.  　【社会活動】  ・△△県○○○評価委員会，委員長，2012年～現在  ・○○学会△△調査専門委員会，委員，2005～2007年.  【その他】  新聞，雑誌記事，テレビ放映・ラジオ放送などの報道，広報誌への掲載，出展などを記入。 |

|  |
| --- |
| 外部資金獲得状況  （期間等も記入） |
| 【科学研究費補助金】  ・2010～2013年度，基盤研究(A)，○○○○○に関する研究，○○○千円，分担  ・2006～2008年度，若手研究(B)，□□□□□に関する研究，○,○○○千円，代表  　【共同研究，受託研究】  ・（共同研究）　2013年度，○○の測定技術に関する研究，○○工業(株)，○○○千円，代表  ・（受託研究）　2011年度，○○の測定，○○○(株)，○,○○○千円，代表  　【寄付金】  ・2009年度，○○に関する研究助成，○○工業(株)，○○○千円  【その他】  　上記以外の競争的資金等を記入。  ＊学内と学外とを分けて記載すること。  〔学外〕  ・2006～2008年度，国土交通省建設技術開発助成制度，□□□□□に関する研究，国土交通省，○,○○○千円，代表  〔宇都宮大学〕  ・2010～2013年度，平成21年度学内若手教員研究助成，○○○○○の開発，宇都宮大学，○○○千円，代表  （提出時は、以下の説明文は削除すること。）  ＊新しいものから順に列記し、件数が多い場合は末尾に「他○件」と記入する。  ＊分担の場合、分担者に配分された金額のみを記入する。（研究代表者の研究費総額ではないので留意すること。）  ＊民間企業等からの採用者において、上記の区分（科学研究費補助金、共同研究、受託研究、寄附金）になじまない資金の獲得がある場合は、【その他】欄に適宜記載する。 |

|  |
| --- |
| 教　育　実　績 |
| ティーチング・アシスタント  ○○大学大学院○○研究科博士前期課程〇〇専攻在籍時　2013年5月～2014年10月  （※教育実績が多数ある場合は省略可とする。（提出時は、本説明文は削除する。））  リサーチ・アシスタント  ○○大学大学院○○研究科博士後期課程〇〇専攻在籍時　2015年4月～2017年9月  （※教育実績が多数ある場合は省略可とする。（提出時は、本説明文は削除する。））  ○○○大学○○学部准教授  【担当授業科目】  教養教育科目  　　　　　　　　　　　　　　　　　 ○○○○学  　　　　　　　　　　　　　　　　　 ○○○○学（オムニバス，担当者総数○名）  ○○学部専門科目（○○学科専門科目）  ○○工学及演習I（演習）  ○○工学実験I（実験）（分担，担当者総数○名））  卒業研究（分担，担当者総数○名））  大学院科目（○○工学専攻，博士前期課程）  ○○工学特別研修I  ○○工学特別実験I（分担，担当者総数○名））  大学院科目（○○工学専攻，博士後期課程）  ○○工学特別研修I  ○○工学特別実験I（分担，担当者総数○名））  ＊原則として、過去１年以内の実績を記入する。（提出時は、本説明文は削除する。）  　【研究指導】  （○○○○年度）　＊最新年度を記入する。（提出時は、本説明文は削除する。）  博士前期課程修了者　　主指導　○名  副指導　○名  博士後期課程修了者　　主指導　○名  　　　　　　　　　　　副指導　○名  （上記以前の年度の合計）  博士前期課程修了者　　主指導　○名  副指導　○名  博士後期課程修了者　　主指導　○名  　　　　　　　　　　　副指導　○名  　【非常勤講師】  ○○大学  ○○○○学（内容：○○学に関する講義，対象：主として○学部1年生）  ○○学I（内容：○○○○論に関する講義，対象：主として○学部2年生）  ＊原則として、過去１年以内の実績を記入する。（提出時は、本説明文は削除する。） |